

## 主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



賛美

「Rise&Go」

「私たちは一つ」

「聖い心」

「御国をこの地に」

「その日全世界が」

献金

牧会祈禱&主の祈り

聖書朗読 創世記17章1節~8節 ペリー紀子

メッセージ「祝福の源として⑤ 全き者であれ」

関真士牧師

賛美 「栄光から栄光へと」

頌栄

主の祈り

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって  
一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

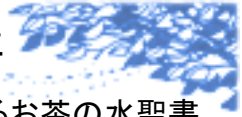
## お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週教育館2階) 初めての方もどうぞご参加ください。
- 6日(日)10:30am~ マウカプロパティ・ハウスの現状説明会を開催いたします。どうぞご参加くださり、説明会の後、続けてHCCファミリーミーティングが持たれます。さらに後、執事会が持たれます。
- 12月24日キャンドルライトサービスに向けてフラの練習を始めます。興味のある方は、末子さん、直子さんまでお知らせください。

献金



## 風の吹くままに



▼奥山夏実さんが日本で学んでいるお茶の水聖書学院の説教学の時間に、私の礼拝説教がテキストとして用いられました。生徒たちが説教を聴いて、感想や批評を述べ合いながら学びます。

用いられる側としてはお役に立てる感謝と共に、まな板の鯉のような心境で緊張もします。神学校時代の説教学の時間や、派遣先の教会での礼拝メッセージへの主任牧師からの批評などを懐かしく思い出しました。その時はかなり辛辣に容赦ない批評がされるのですが、今回の皆さんはとても好意的なレスポンスをいただいたようでほっとしました。

礼拝説教には、これで完成ということはありません。改めて、常に研鑽を重ねていく必要を感じ、身の引き締まる思いをしました。

礼拝説教は、会衆と共に造り上げていく教会の業です。牧師個人の書斎から造られるものではなく、御言葉と牧会の中から生み出されるものです。これからもどうぞ礼拝説教のためにお祈りください。



関真士牧師  
sekishinji89@gmail.com

## 2024年度聖句 1ペテロ4章10節

それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

### スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



### 分かち合いのポイント

①私たちの神は「全能の神」です。だから信頼できる、だから従うことできる、だから\*\*\*。あなたの言葉で告白してみましょう。

②ダビデの目の前には罪が置かれていました。しかし主が、ダビデと罪との間に割り込むようにして目の前に来てくださいました。あなたは主の御前に生きていますか。

③全き者とは、完全、無欠という意味です。これは道徳、倫理的にではなく、関係を現わす言葉です。あなたは自分が「全き者」であると言えますか。

## 創世記17章1節～8節

さて、アブラムが九十九歳のとき、主はアブラムに現れ、こう言われた。「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に立てる。わたしは、あなたを大いに増やす。」アブラムはひれ伏した。神は彼にこう告げられた。「これが、あなたと結ぶわたしの契約である。あなたは多くの国民の父となる。あなたの名は、もはや、アブラムとは呼ばれない。あなたの名はアブラハムとなる。わたしがあなたを多くの国民の父とするからである。わたしは、あなたをますます子孫に富ませ、あなたをいくつもの国民とする。王たちが、あなたから出てくるだろう。わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、またあなたの後の子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしは、あなたの神、あなたの後の子孫の神となる。わたしは、あなたの寄留の地、カナンを、あなたとあなたの後の子孫に永遠の所有として与える。わたしは彼らの神となる。」

### 引用聖句

ルカ福音書1章36、37、45節  
詩篇16篇8節 51篇3、11節  
2コリント3章18節

## ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822

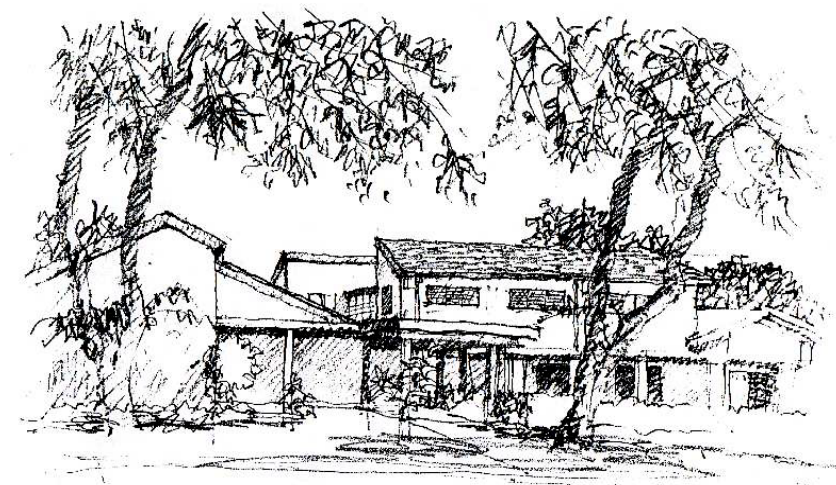
日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email: [office@honoluluchristian.church](mailto:office@honoluluchristian.church)



ホノルルキリスト教会 2024年9月29日

## 週報



詩篇67篇1節～3節

どうか 神が私たちがあわれみ祝福し 御顔を私たちの上に照り輝かせてくださいますように。あなたの道が地の上で御救いがすべての国々の間で知られるために。神よ 諸国の民があなたをほめたたえ 諸国の民がみな あなたをほめたたえますように。